

2026 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（広島）/プログラム

<9/12（土）まなびの館ローズコム（福山市生涯学習プラザ）（1 日開催＋動画視聴）>

9:00-9:30 受付

9:30-9:40 オリエンテーション

（コースの位置づけ、プログラム構成/休憩等、デジタル修了証の発行要件、懇親会の案内 など）

9:40-10:20 講義① 情報性 身体と環境の相互作用（坂本）

キーワード：知覚運動円環／運動と情報性／身体化認知としての行為

目標：身体や運動への新たな視点を獲得し、「認知」とは何かを理解する

10:25-11:05 講義② 認知神経理論と回復/学習（小川）

キーワード：理論と基本原則／回復と学習と身体意識

目標：認知神経理論の基礎と基本原則を理解する

11:15-11:55 講義③ 予測と運動イメージ/比較と学習/身体意識（赤口）

キーワード：アノーキンの予測機構／多感覚統合と行為空間／運動イメージと学習メカニズム

目標：脳の予測機構と多感覚統合による運動学習メカニズムを理解する

11:55-12:05 質疑応答

12:05-13:10 昼休憩（道具の体験）

13:10-13:50 講義④ 病態解釈の実際（宮城）

キーワード：外部観察と内部観察/認知過程と意識経験の変質

目標：定量的評価（三人称観察）と意識経験の変質（一人称観察）の両面からの観察を理解する

14:00-15:30 実技 上肢・下肢の機能システム（宮城・佐々木）

キーワード：世界に意味を与える身体/行為の機能システム/情報の構築/視覚と体性感覚の比較統合

目標：自身の身体・道具を通じて「目的に応じて変化する意味（情報）」を検討する

上肢（講義/宮城・実技/全講師）・下肢（講義/佐々木・実技/全講師）

15:45-16:25 講義⑤ 訓練の組み立て方/道具の選択（赤口）

キーワード：認知問題（空間問題・接触問題）と道具/物理的道具と心理的道具/訓練の組織化

目標：何に対して、どのような認知課題を立てるか、どのような道具立てが使えるかを理解する

16:30-17:10 講義⑥ 片麻痺と運動器疾患の特異的病理と回復の神経科学（佐々木）

キーワード：特異的な運動の異常要素/神経可塑性と機能回復

目標：「認知」の視点からみた片麻痺・運動器疾患の病態と回復のメカニズムを理解する

17:15-17:55 講義⑦ 行為としてみた認知の発達（坂本）

キーワード：行為の意図・記憶・イメージ

目標：外部環境ならびに他者を含む社会環境と相互作用する行為の回復とは何かを理解する

17:55-18:10 質疑応答、全体討論、エンディング

（終了のあいさつ、入会案内、地域勉強会、その他事業について）

18:40 懇親会

（会場周辺 参加費：5000 円程度を予定しています ※詳細は別途ご案内いたします）

（事前視聴動画：1 導入：6 分 30 秒 2 上肢：120 分 3 下肢：55 分 4 体幹：52 分）